

地域でともに学ぶ！

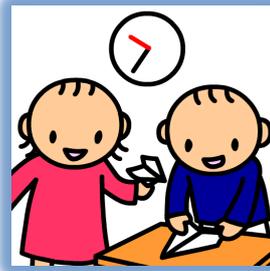
千葉県立千葉特別支援学校

居住地校交流

きょじゅうちこう
こうりゅう

ってなあに？

居住地校交流とは？ 特別支援学校に通っている子どもが、自分の住んでいる地域の小・中学校に行き、一緒に学習や行事に参加することです。



互いの学校の児童生徒にとって、
「取り組んでよかった」と思える交流を目指します！



特別支援学校の子ども一人一人の
できることや希望に応じて、居住地校
と十分相談の上、活動内容、時間、回
数等を決めていきます。

子ども同士のつながりを深め、
地域でともに生きる基盤をつくります。

さらには、地域での行事、余暇活動など
地域でのつながりを目指します。

◇学校名：千葉県立千葉特別支援学校

◇住所：〒262-0004

千葉市花見川区大日町1410-2

◇TEL: 043-257-3909 FAX: 043-257-2226

やってみてよかったよ！



居住地校の友だち、先生、家族から



～居住地校の友だちより～

作業が早くて、こちらが追いつけないくらい。(中・支)

給食を一緒に食べたり、掃除をしたりしたい。(中・通)

小学校に戻れたみたいでなつかしかった。(中・通)

なんでもできてすごいな。入学してほしいな。(小・支)

次も一緒にできる遊びを考えておくれ。(小・支)



～家族（保護者）より～

顔を覚えてもらうことで、将来の活動の場が広がってほしい。(中)

顔も名前も覚えてもらって、本人も私も心強くなるのがたくさんある。(小)

親と一緒にいるので、子どもの行動を改めて観察でき、今後の課題も見えてきた。(中)

地域の子もたちとかかわる機会がほとんどないので、良い経験になると思った。(小)

本人の自信になっている。県ちばでも以前より友達に積極的にかかわるようになっていく。(小)

子ども同士の接点があるように、居住地校の先生が声かけをしてくださっている。(中)



～居住地校の先生より～

人とのかかわりが苦手な生徒たちが交流の日を楽しみにしている。(中)

教師自身が授業の進め方や教材の工夫を見直すよいきっかけとなった。(小)

回数を重ねるごとに、自分から誘ったり案内したりと一緒に活動しようとするようになってきた。(中)

互いの学校が無理をせず、長く続けていくことが大切。(中)

地域で共生していくための橋渡しをしていきたい。(中)



～家族（兄弟姉妹）より～

お兄ちゃんと同じ学校で過ごすとはこの先、ずっとないと思っていたので、お母さんから学校に時々来ると聞いてうれしかった。(小)

知らない友達に何か言われなかなど少し心配だったけど、特別支援学級の友達が一緒に遊んでくれていて、ほっとした。(小)



◇本校の対象：小学部1年生から中学部3年生
◇申込方法：本校担任へお申し出ください。